

(お知らせ)

福島第一原子力発電所3号機使用済燃料プールでの  
テープ片らしきものの発見について

平成18年8月23日  
東京電力株式会社  
福島第一原子力発電所

当所3号機(沸騰水型、定格出力78万4千キロワット)は定格熱出力一定運転中ですが、本日午後2時40分頃、IAEA<sup>\*1</sup>査察のために使用済燃料プール内に保管されているMOX燃料<sup>\*2</sup>1体をプール内で移動していたところ、当該燃料集合体の下部にテープ片らしきもの1枚(長さ約10cm×幅約5cm)が付着していることを目視にて発見いたしました。

今後、回収作業を実施いたします。

以上

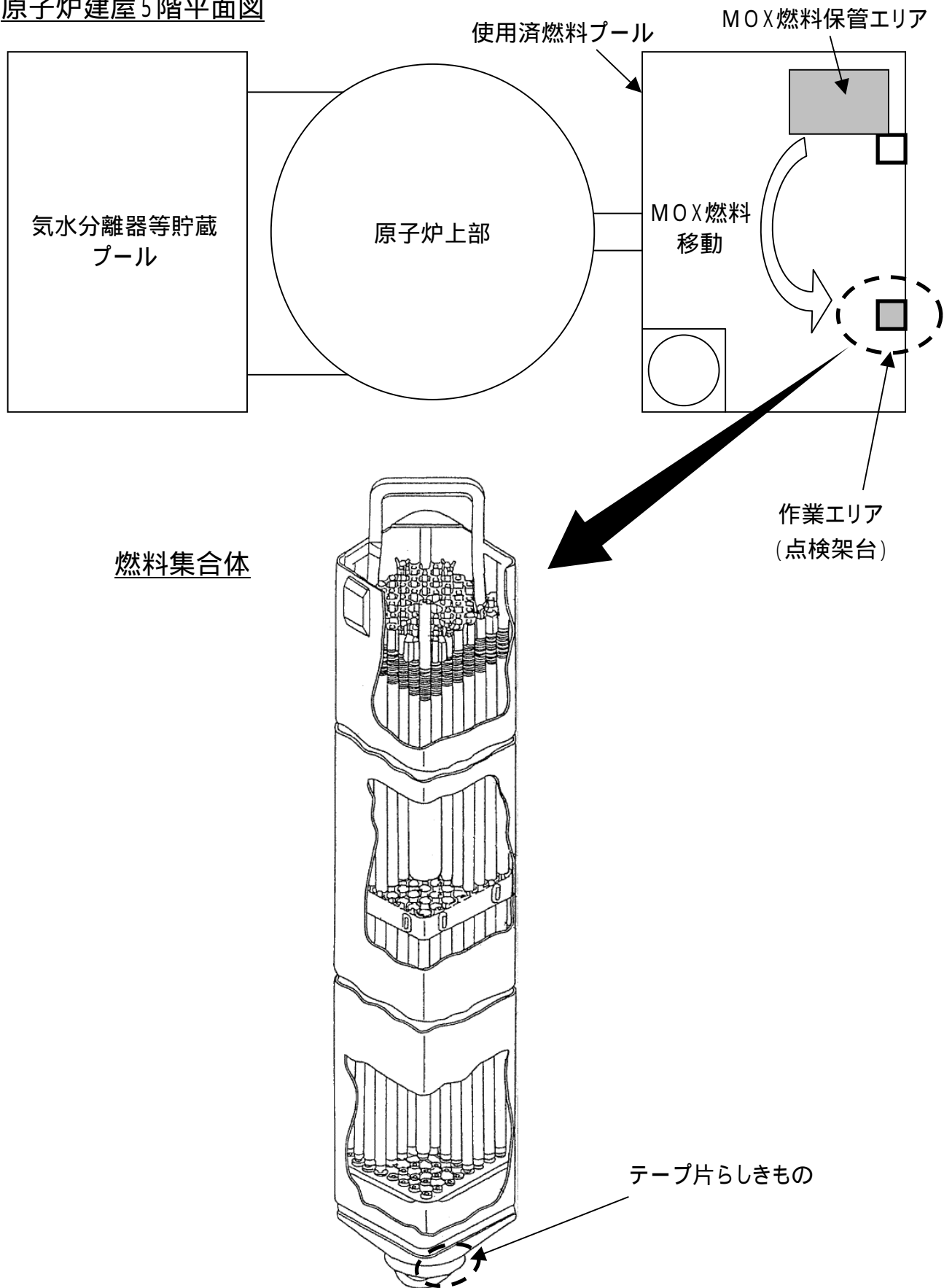
\*1 IAEA

原子力の平和利用を通じて世界の平和と健康と繁栄に貢献することを目的に設立された国際機関であり、原子力が軍事目的に利用されないための保障措置の一環として原子力発電所における燃料の査察などを行っている。

\*2 MOX燃料

ウランと使用済燃料から取り出したプルトニウムを混ぜて作った燃料。

原子炉建屋5階平面図



3号機 使用済燃料プールでのテープ片らしきものの発見概略図